

中国内蒙古における地域開発計画の現状と課題

Current Status and Issues of the Regional Development Plan in Inner Mongolia of China

暢 志軍*, 奥山 育英**, 高梨 誠***

By Chang Zhi Jun, Yasuhide Okuyama and Makoto Takanashi

1. はじめに

内蒙古自治区（以下、内蒙古と称す）は、海拔1000m以上の高地に位置する人口2260万人余りの中国の中でも開発が遅れている辺境地域である。しかし、地下資源が豊富で中国のエネルギー基地とも呼ばれ、経済改革、対外開放、高度経済成長によって飛躍的に発展している中国を支えていく重要な役割を果たす地域である。一方、中国は人口増とそれに伴う食糧およびエネルギー不足といった種々の問題も抱えており、内蒙古の経済社会の発展と変化が人口12億人の大国中国に与える影響は非常に大きい。

本研究では、中国が国家計画として掲げている「中国の国民経済及び社会発展第九次五カ年計画(1996-2000年)」と、内蒙古が掲げる「内蒙古自治区の経済及び社会発展第九次五カ年計画(1996-2000年)」を概観して内蒙古における地域開発の経緯や問題点について考察し、今後の課題を明らかにすることを目的とする。

2. 地域開発計画の概要

(1)中国第九次五カ年計画

1978年に開催された中国共産党の11期中央委員会第3回総会以後、中国は経済改革（市場経済の導入）と対外開放（国際貿易・外資の導入・外国企業の参入）を積極的に推進し、中国の近代化を3段階に分けて21世紀中期までに実現するという戦略をたてた。1996年から2010年までがその第2段階の期間であり、中でも1996年3月に閉幕した中国第8期人民代表大会

第4回会議で批准された「中国の国民経済及び社会発展第九次五カ年計画」が中国経済発展のカギとなるといえる。その計画体系を図1に示す。

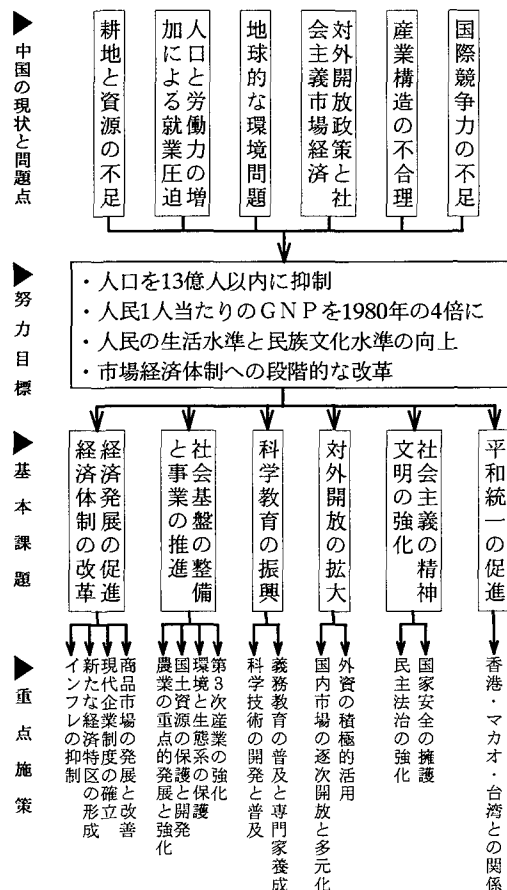


図1 中国第九次五カ年計画の体系

この計画の遂行は非常に重要である。なぜなら、過去5年間を振り返ってみると、GNPが年率12%増と過去最高になり、高度経済成長の伸び率は世界一であったが、インフレ、国有企業の不振、共産党幹部の政治腐敗、農業の衰弱、貧富格差および地域格差の拡大などの諸問題が表面化してきている。こ

キーワード：計画基礎論、国土計画、地域計画、都市計画

* : 学生員 修(工) 鳥取大学大学院社会開発工学専攻
TEL:0857-31-5338 E-Mail:s-chang@sse.tottori-u.ac.jp

** : 正会員 工博 教授 鳥取大学工学部社会開発システム工学科
TEL:0857-31-5312 E-Mail:okuyama@sse.tottori-u.ac.jp

*** : 正会員 修(工) 助手 鳥取大学工学部社会開発システム工学科
TEL:0857-31-5338 E-Mail:takanashi@sse.tottori-u.ac.jp
(〒680 鳥取市湖山町南4-101 FAX:0857-31-0882)

の現状を踏まえ、中国としては国家としての努力目標を掲げ、21世紀に向けて中国が進むべき方向を明らかにすることが必要であり、現代化の推進にとって重要な役割を果たすからである。

(2) 内モンゴル第九次五カ年計画

1996年2月の内モンゴル自治区第8期人民代表大会第4回会議において「内モンゴル自治区の経済及び社会発展第九次五カ年計画」が目標年次を2000年として批准された。この計画の体系を図2に示す。

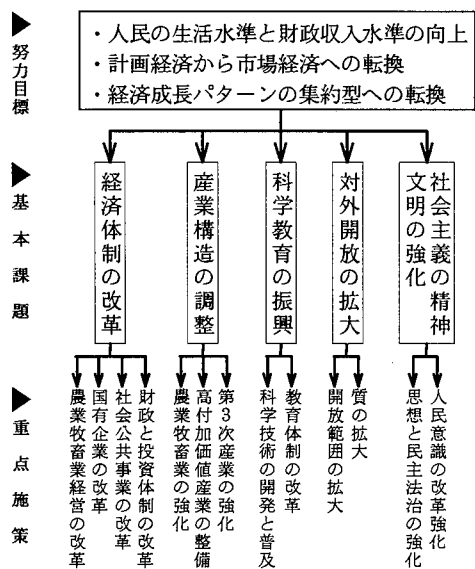


図2 内モンゴル第九次五カ年計画の体系

3. 期待される成果、課題および問題点の抽出

ここでは、上位計画として位置づけられる「中国第九次五カ年計画」と照らしあわせながら、「内モンゴル第九次五カ年計画」において期待される成果、課題および問題点について述べる。

(1) 経済体制の改革

社会主義における計画経済体制は、全て中央政府の指令に依存しており、人民の積極性や創造性が十分に発揮されない状況にある。このような体制を市場経済体制に改革することによって、内モンゴルの経済発展に活力を与えることが期待されており、図2に示す4つの重点施策が考えられている。

農業牧畜業経営の改革は、農業牧畜業への投資を

増やして農村の発展を支援するものである。これにより、商品生産の産業化と現代化への転換が期待される。この改革においては、農業経営上の責任は各家庭が担うという「家庭聯産承包責任制」と呼ばれる制度の導入を詠っているが、伝統的な手作業を機械化させること、先端の農業技術を採用することが課題である。ここでは、人民公社組織の公的所有の大型財産と設備が適切に管理されておらずほとんどが使用できないこと、農民達の知識水準が低いこと、資金不足などが問題点である。

国有企業の改革は、大・中国有企業に対しては従来の計画経済に市場経済を、小国有企業に対しては市場経済のみを取り入れるものである。これにより、市場競争が発生し、消費者に有利になるという成果が期待される。しかし、現在この改革は難航している。その原因として、過去5年間の高度成長期における安易な大量生産による不良製品の発生により、企業は大量に売れ残った生産物を在庫として抱えざるを得なくなったこと、多額の歳出が中国政府の財政を圧迫し、生産の継続が困難となっていることがあげられる。さらに、多額の補助金と不良原料の使用により、販売価格が高すぎて製品の売れ行きが伸びず、悪循環の状態にある。なお、これは内モンゴルのみならず中国全土の問題でもある。

社会公共事業の改革は、金融、保険、情報、労働力、不動産などの市場を重点的に整備するものである。これにより、生活物資市場の活性化、開放された競争市場システムの形成、社会保障や流通の各システムの改革などが期待される。そのためには、農業牧畜業に適した新しい保険業務の開発や総合的な情報ネットワーク体系の形成が課題となる。なお、これといった問題点は見あたらない。

財政と投資体制の改革は、長期的な視野のもと、現在の計画、財政、金融、投資の各システムを重点的に整備するものである。これにより、社会主義における市場経済体制に適応したマクロコントロール体系の形成が期待される。しかし、図3に示すように内モンゴルでは赤字財政が続いており、財政基盤の建て直しは急務の課題である。ここでは、インフレにより貨幣価値が不安定であること、地方財政の自給率が低いこと、少数民族地域に限定して施行されていた中央政府からの補助金制度が1987年に廃止されてしまったことが問題点としてあげられる。

以上、内モンゴルの経済発展を実現するためには、こ

これらの課題および問題点を一刻も早く解消するための努力が必要であり、この五カ年計画の果たすべき役割は大きい。

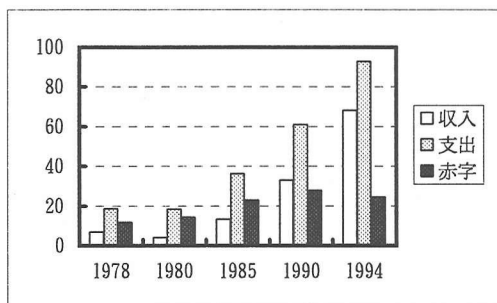


図3 内蒙古の財政状況の変化 (億元)

(2)産業構造の調整

第1次から第3次産業の協調的な発展を促進させることが重要であり、今後5年間における内蒙古の各産業の年平均増加率としてそれぞれ4.0%、12.0%、12.2%を期待している。目標年次には産業構造比率を現在の29:39:32から22:43:35に調整することを目標としているが、この産業構造の調整は内蒙古にとって最大の課題であり、図2に示す3つの施策が考えられている。

農業牧畜業の強化は、水利を活かした田畑、草原および牧場の建設を重点的に推進するものである。これにより、広大な農地にたくさん栽培しても収穫が少ない現在の生産体系を、限られた面積の農地でも多くの収穫が得られるような生産体系へと転換することができると期待される。また、牧畜業においては生産数を重視する数量型生産から質を求める品質型および実益型生産への転換を図ること、林業においては5年間で新たに166.7万haを造林することにより、森林面積の占める割合を引き上げることが課題である。ここでの問題は、農業と牧畜業の協調が図られていない点である。内蒙古は広大な草原が広がり、牧畜業にとっては有利であるが、乾燥・半乾燥地域のため気候は厳しく自然災害の発生も頻繁なため、農業にとっては不利な状況にある。しかし、今のところ農業が第1次産業の中心であるため生産活動は困難を要している。そこで、条件としては優位にある牧畜業を重点的に振興しようという動きが活発化しており、これもまた重要な課題となっている。ちなみに、1978年と1994年の生産高を比較してみると、全国では農業が22%減で牧畜業は14%増である

が、内蒙古ではそれぞれ4%減、6%増と変動幅が小さい。これは、内蒙古における第1次産業を促進するための地域開発が遅れている原因の1つである。

高付加価値化産業の整備は、内蒙古の豊富なエネルギー資源を活用した産業を整備するものである。これにより、従来からある基幹産業との協調が図られ、市場経済の発展にもつながることが期待される。そのためには、内蒙古の化学工業、建材工業、森林工業といった資源活用型の産業を重点的に整備することが課題である。問題は、異種産業間のバランスをどのように取ればよいかということである。

第3次産業の強化は、国民経済にとって重要な役割を果たす交通、運輸、郵便、通信といった社会公共サービス事業を整備するものである。これにより、人々の生活はますます便利になることが期待される。ここでの大きな問題点は、財政力が弱いために、交通基盤や情報網の整備が思うように進まないことである。今後は、外資を積極的に導入して整備を促進させることが課題となる。

(3)科学教育の振興

科学技術の開発と普及は、より多くの専門家を養成するものである。これにより、産業と市場経済体制との関係がより緊密になると期待される。そのためには、農業技術の開発と普及、ハイテク産業の開発、労働者の素質の向上を図ることが課題である。

教育体制の改革は、義務教育を普及させて国民の素質を向上させるものである。これにより、各種領域における優秀な人材が育成されると期待される。

これら2つの施策については、全国的にみても早くから取り組んでおり、特に問題点は見あたらない。

(4)対外開放の拡大

開放範囲の拡大は、内蒙古の地理的な優位性をうまく活用して、内蒙古の経済と国際市場とを結びつけるものである。これにより、国際貿易および各種産業の活性化につながると期待される。そのためには、外資を積極的に導入して資源開発と産業基盤整備を促進させ、技術の改良と振興を図ることが課題である。問題点としては、内蒙古の産業製品は粗産品がほとんどであり、国内外の地域と対等に交流するための道具に乏しいこと、物流、交通、通信といった社会基盤が弱いことなどがあげられる。

対外開放の質の拡大は、輸出における高品質製品

の占める割合を大きくするものである。これにより、国内外の各産業との交流や連携の強化が期待される。そのためには、輸出品目構成の改善、輸出品の加工基地建設の推進、より高度な加工技術の導入が課題となる。ただし、内蒙古および中央政府の財政は裕福であるとはいえ、効率的に对外开放を進める際の障害となっている点が問題である。

(5)社会主義の精神文明の強化

思想と民主法治の強化は、民族精神を奮い起こして社会の気風を改善するものである。これにより、社会主義の近代化と経済の発展が期待される。そのためには、物質文明と精神文明の両方に均等に力を注ぐことが必要である。しかし、政府幹部による政治腐敗や贈収賄などの犯罪の増加が問題である。

人民意識の改革は、人口、国土、環境、産業の各問題、経済体制の改革に対する意識を増強させるものである。これにより、2000年の内蒙古の人口は2452万人以下に抑制され、環境汚染や生態系の破壊がコントロールされると期待される。ただし、いまだに人民の意識や関心の低さが問題である。

(6)その他の課題および問題点

防災問題については、内蒙古の五カ年計画では触れられていない。また、環境や生態系の問題については関心が低いと思われる。これらは地球規模でも現在最も活発に議論されている問題であり、内蒙古あるいは中国としてもこのまま沈黙を続けていくことは困難である。なぜなら、

- i)内蒙古は乾燥・半乾燥地域で気候も厳しく、自然災害の発生が多くて農業牧畜業における生産活動は自然環境に左右されている現状にある。
 - ii)内蒙古の自然草原面積は8800万haであり、土地の不適切な利用、森林の伐採と植林の不均衡により、毎年平均して9.3万haの土地が砂漠化している。現在、農業経営や居住といった生活環境の基盤として適さない土地の総面積は中国全土の約半分を占めており、しかも内蒙古を中心とする中国西部地域に集中している。中国は多人口・少耕地という厳しい現状であり、このような砂漠化がこの先も続くとなると、国全体としての食糧問題を引き起こすだけでなく、世界の食糧事情にも大きな影響を与えることは必至である。
- という2つの点を考慮しなければならないからである。

4. 考察および計画に対する提案

3. の(1)から(6)までに挙げた課題および問題点は相互に関連しており、1つでも頓挫するようなことがあれば、計画は順調に達成されないであろう。一方、これらの問題点を解決していく際に平均的に力を注ぐことは好ましくなく、解決の順番や処理方法などを真面目に議論しなければならない。

内蒙古には豊富な資源が眠っているにもかかわらず、とりたてて加工せずに粗産品のまま他地域へ出荷しているため、エネルギーを中心とした重工業産業においては多大な投資をしても利益がさほど得られていない。すなわち、内蒙古で生産された資源や安価な生産物はそのほとんどが他の地域に流れてしまい、それらの地域は内蒙古から得た安い原材料を使って付加価値の高い製品を生産し、高い利益を獲得しているのが現状である。従って、それが内蒙古で完結するように仕向けることが今後の課題である。

幸い、改革開放後の今日においては、中央政府から内蒙古への投資はそのほとんどがエネルギー産業の整備促進および粗産品の高付加価値化産業を実施するためのものであるため、地域財政力の非常に低い内蒙古はこれを最適に活用する方法を模索し、その実現のために最大限の努力を惜しんではいけない。

5. おわりに

本研究では、中国における地域開発の現状や問題点と関連づけて、内蒙古における地域開発計画の期待される成果、課題および問題点を洗い出した。今後は、中国国内および国外の他地域との比較分析を行い、本研究で整理された課題および問題点を解決するための方策の提案や、それを立証するためのモデルの構築を行っていく予定である。

〔参考文献〕

- 1)内蒙古日報社：内蒙古日報、1996.2.13.
- 2)内蒙古日報社：内蒙古日報、1996.3.20.
- 3)曹征海、潘照東 他：走向二十一世紀、内蒙古大学出版社、1991.
- 4)馬洪、房維中：内蒙古經濟開發現在与未来、經濟管理出版社、1994.
- 5)内蒙古自治区統計局：内蒙古統計年鑑、中国統計出版社、1995.
- 6)國家統計局：中国統計年鑑、中国統計出版社、1995.
- 7)中島誠一：中国第九次五カ年計画と長期目標、海外事情、pp.66-79、拓殖大学海外事情研究所、1996.
- 8)小田清：開発計画と地域政策、pp.107-115、日本経済評論社、1995.